



発行

岡山県民主医療機関連合会

岡山市北区下伊福西町 1-53

岡山県民会館 3 F

TEL (086) 214-3911

2020 年 1 月号 No. 342

E-mail: kikanshi@okayama-min-iren.org

URL: http://www.okayama-min-iren.org



2019年4月岡山県民医連新人職員研修

新年明けまして

おめでとーございます



岡山県民主医療機関連合会

会長 藤田 文博

昨年10月より税率10%への消費税増税が実施され、私たちの生活に大きな打撃を与えました。メディアは、いかにポイント還元制度をうまく活用するかということとを盛んに報道しましたが、消費税の本質には触れません。「これは社会保障に使われるのだから、必要な税だ」というようなことをインタビューで答えておられる市民の方がまだおられます。言うまでもなくこれはフェイクであり、事実ではありません。消費税増税分は社会保障の財源確保に使われているのではなく、大企業の法人税や富裕層の減税の穴埋めに使われているのです。

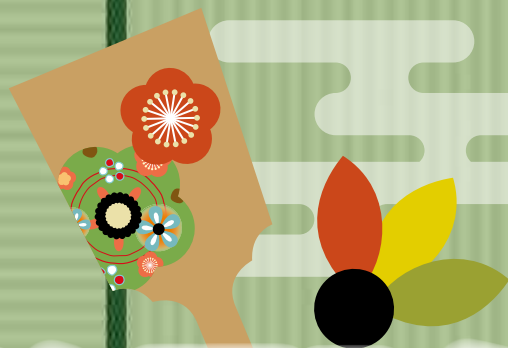
消費税が導入されてからの31年間、社会保障制度はよくなるどころか、改悪に次ぐ改悪の連続であったことがその証明です。民医連は格差と貧困を拡大させる消費税の増税に反対の立場です。消費税10%引き上げ廃止の声をひろげていきましょう。また、安倍9条改憲反対の運動を粘り強く行い、改憲の企てを阻止しましょう。

岡山県連の医療福祉分野の活動においては、昨年災害対策委員会を発足しました。今後、県連防災マニュアルの改訂を行う予定です。また昨年の認知症懇話会の成功に続けて、認知症への取り組みのさらなる強化を図りたいと思います。

今年もよろしく申し上げます。



山県民医連



新年の抱負・夢を語ろう

皆さまの健康と

をお願いします、と依頼
いかなあ、と考えてひと
日までに美しく早く仕上

ト検索すると“おすす
るものが出てきて、こ
られるのだなと、妙
に感心。

その中で「幸福
感を高める」「嫌
なことはしない」
が良いと思い、採
用させていただ
きます。皆様に
なって良いお年に
なりますよう。

おかもと だいじゅ
岡本 大樹

平成から令和へ、新しい元号になっても
特に何も変わらない…と思っていた私で
すが、6月に管理者となり、慣れない業務に
追われる日々が続きました。職場の上司、
スタッフに助けてもらいながら、ばたばた
しながらなんとか令和元年をのりきるこ
とができました。令和2年は、少し気持ちに



余裕をもって、とり
あえず目の前のこ
とから一つひとつ
の気持ちでやって
いきたいです。そし
ていつものように、
笑顔で訪問に向か
えるように頑張り
たいと思います。

訪問看護ステーションひまわり 所長 ことぶき みづえ
壽 瑞穂

1年目は右も左も分からず上級医の
先生や病院のスタッフに助けられながら
日々の業務をこなしていました。

しかし、約1年が経ち、知識も若干で
はありますが増えてきたので今以上に
病院に貢献できるように努力していき
たいと思います。また2年目からは、1年



目研修医もはいつ
てくるので2年目
という自覚を持
ち、自分で考え、
病棟スタッフの助
けになれるよう
に努力していきたい
と思います。

たけはな よしき
岡山協立病院 医師 竹鼻 良樹

私にとって2019年は、新社会人とし
て初めて社会に出て働く年でした。その
ため、常に覚える・慣れることの連続で、
時間が過ぎるのが早く感じました。

看護師として働かせて頂いています
が、患者さんの回復していく過程や姿、
笑顔を見るととてもやりがいを感じま



す。学生時代、看
護師は生涯勉強
であると学び働い
ている今、身に染
みて実感していま
す。今年も多くの
技術習得を目指し
て、成長の年にし
ていきたいです。

水島協同病院 看護師 ふくぞの あかり
福園 絆里

2019年は新人として日本で働くとい
う、はじめてだらけの新生活でした。
異国で働いて慣れるのは随分と時間
がかかりましたが、今は慣れて楽しく頑
張っています。



今年は common disease をきちん
と診られるように研鑽を積み、手技・検査
などを一人前にで
きるようになって
いと感じています。
また、岡山弁の
上達を図り、地域
の方々が健康に過
ごせるように、そ
の助けになりたい
と思っています。

水島協同病院 医師 かきよ
許 家琪

迎春

2020 岡山

昨年の4月に入職をさせていただきました。新しい仲間、新しい職場、何より当事者やご家族との新しい関わり。全てが0から始まる新しい出会いの年でした。今年から2年目ということで、より一層、自分の考えを持って動いていきたいと思っています。



林道倫精神科神経科病院 精神保健福祉士

そして、0が1や2になれるようなガンバリをコツコツとし、自分ちちょっと成長したかな？と思える1年にしていきたいと思っています。

こまつ ばら わたる
小松原 航

自分たちの手で民医連の看護師を育てたいとの願いから始まり、ソワニエ看護専門学校は昨年、創立25周年を迎えました。実習を受け入れてくださる事業所、皆さまのお力添えもあり、今では、全所の皆さまの卒業生が県連内をはじめ、全国各地で活躍しています。今後も、民医連の後継者として社会に貢献できる人を育てていくために、職員一同頑張ります！



ソワニエ看護専門学校 校長 木村 高きよ
きむら たかきよ
木村 高清

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。こうして、新年を迎えることをたいへん喜ばしく思います。福祉の仕事に就き、15年が経ちます。近年、介護の施設職員に求められているものは幅広く、大きく変わってきているのを感じます。より多くの方々、物事と関わり、自身の視野を広げ、求められているものを知ることで介護・福祉の専門職として地域福祉に携われるよう努力、精進したいと思います。



ケアハウスあかね 生活支援部介護主任
おだ まこと
小田 誠

2000年のミレニアムの突入から20年という節目の年を迎え、岡山協立病院も開設60周年を迎えます。病院リニューアルが大きく遅れていますが今年こそは、みんなの夢をのせて計画が発進できるようにしていきたいと思っています。また、地域からも職員からも愛される病院づくりを進めていきたいと思っています。



岡山協立病院 事務長 栗林 悟
くりばやし さとる
栗林 悟

新年の抱負を受け、何がいつは「書類を期待する」にします。他には、とネットの抱負5選”なんなもので調べ



林道倫精神科神経科病院 医師



たった 3 日間でも、こんなに仲良くなりました。

2 日目の学習講演では白神弁護士より「なぜ憲法が必要なのか?」そんな疑問が湧いてきました。その憲法とはどういうものなのか?といった内容のお話を頂きました。その夜の S G D はかなり盛り上がり、「憲法は単なる法律の一種だと思っていた」「講演をうのみにするだけでなく、改憲派・改憲反対派・中立の全部の主張を聞いて、その上で自分の考えを持てるようになりたい」などの意見が挙がりました。

ファイールドワークでは水の町として知られている郡上へ行きました。郡上踊りや食品サンプルづくり、食べ歩きや買い物で班員と交流を深めることが出来ました。名前も知らなかった土地を自分の足で歩き、文化を見て回るのとはとても楽しく、何をするにも実際に試してみようというのとは大きな学びになるなと感じました。

最終日に会場を後にする時は、私の班はもちろんあちこちから別れを惜しむ声が上がりました。3 日間でしたが、本当に楽しくてか

10 月末に岐阜県で開催された全国ジャンボリーへ参加してきました。台風の影響で例年よりは参加者が少ないとのことでしたが、それでも約 600 名という多くの青年職員が全国から集まりました。

今回は班内の仲を一気に深めてしまおう!という実行委員の意向により 1 日目に大交流会が行われました。そのおかげで自然にコミュニケーションを取ることで、夕食時の会話が弾み、S G D の意見交換もかなりスムーズで終始充実した時間を過ごすことができました。

〜全国青年ジャンボリー in 岐阜

人と人、現在と未来をつなぐ 清流の国ぎふこやあ



気持ちをひとつに、玉送りゲーム

吉田 幸奈

(林道倫精神科神経科病院)

けがえのない時間でした。カンパをはじめとした財活に協力してくださった皆様、快く送り出して下さった各院所の皆様、ありがとうございました。これからジャンボリーをよろしくお願ひ致します。



立場や世代の違いをこえた交流の場に

青年職員の育成をすすめる交流集会

「理解し合える職場づくりのために知ってほしいこと」をメインテーマに、青年職員の育成をすすめる交流集会(11月30日、ソワニエ看護専門学校)を開催。青年職員と職責者 29 名が参加しました。

E A P カウンセリングルーム・野崎詩織臨床心理士の講義「アサーション」では、のび太(いじいじ)・しずかのび太(いじいじ)・しずか(さわやか)・ジャイアン(いじいじ)のキャラクターを模した人形を使った活動が行われました。

後半は、あるある川柳の投票と、ジャンボリー活動の現状(法人新人交流会など新しい活動を始めた中央

「理解し合える職場づくりのために知ってほしいこと」をメインテーマに、青年職員の育成をすすめる交流集会(11月30日、ソワニエ看護専門学校)を開催。青年職員と職責者 29 名が参加しました。

E A P カウンセリングルーム・野崎詩織臨床心理士の講義「アサーション」では、のび太(いじいじ)・しずかのび太(いじいじ)・しずか(さわやか)・ジャイアン(いじいじ)のキャラクターを模した人形を使った活動が行われました。

後半は、あるある川柳の投票と、ジャンボリー活動の現状(法人新人交流会など新しい活動を始めた中央

職場作りと活がそつ

中四地協看護主任研修

集まり研修会が開催されました。研修目標は、コミュニケーション能力を高め職場作りに活かす事と地協主任集団の交流とネットワーク作りでした。

川崎医療福祉大学 谷原弘之教授より「心が折れない人間関係作り」と題した講演を聴きました。コーチングやアサーション、レジリエンスの視点を中心にコミュニケーションのポイントやストレスに強くなる思考過程など職場で活用できる多くの内容を学びました。特に「Iメッセージ」を活用したコミュニケーション法は共感でき、帰任後に実践したいとの声が多く聞かれました。



国際交流センターで 2 日間行われました。

10 月 4 日から 5 日に中四地協から 46 名の看護主任が

(林道倫精神科神経科病院)

意見も多く出ていました。2 日目は広島、鳥取、徳島、岡山の実践報告がありました。困難状況のなかでも成果を感じる報告に、参加した主任たちは勇気づけられました。講演と実践報告を受けてのグループ討議では、抱えている問題を共有しながらこんな方法で試してみたいなど改善提案も多くあり実りあるものでした。夕食交流会含め、地協の主任のエネルギーを受け、期待できる 2 日間でした。私の立場で主任集団と共に働いていきたいと強く感じました。

佐藤 修